

## 三菱自動車が技術支援する「チーム三菱ラリーアート」が「2023年 NAPAC AWARD 大賞」を受賞

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）が技術支援をする「チーム三菱ラリーアート」は、モータースポーツとカーカスタマイズの発展に貢献したとして、一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会\*1（以下 NAPAC、中嶋敬一郎会長）が選ぶ「2023年 NAPAC AWARD 大賞」を受賞しました。



NAPAC 会長の中嶋敬一郎氏と「チーム三菱ラリーアート」総監督の増岡浩

NAPAC 公式サイト

<https://www.napac.jp/cms/ja/>

2021年のラリーアートブランド復活に続き、三菱自動車が技術支援する形でラリー活動に復帰した「チーム三菱ラリーアート」は、アセアン最大規模のクロスカントリーラリーイベントとなるアジアクロスカントリーラリー（以下 AXCR）の2022大会に『トライトン』で初参戦し、総合優勝を飾りました。続く2023大会ではフルモデルチェンジした新型『トライトン』で参戦して3位表彰台を獲得、さらに同チームより参戦の全3台が完走し、チーム賞を受賞しました。こうした取り組みを通じて世界中のラリーファン及び日本のラリー関係者に明るい話題を提供したことが評価され、「2023年 NAPAC AWARD 大賞」受賞につながりました。

「チーム三菱ラリーアート」総監督 増岡浩のコメント

「ラリーアートの名を冠する以上、勝利を目指すことが求められる状況の中、スタッフをはじめ協力会社の皆様の絶大な支援のおかげで2022年は総合優勝、昨年は連覇とはなりませんでしたが3位表彰台という結果を残すことができました。我々の活動がこういった形で高く評価されたことに感謝するとともに、チーム関係者の努力が報われただけでなく、

応援してくださったすべての方々にいただいた賞だと思っております。今後もラリー活動からのフィードバックを三菱自動車らしいクルマづくりに活かすとともに、モータースポーツシーンを盛り上げる一助になればと思います」

\*1：一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会（NAPAC）は、自動車のカスタムパーツとカスタムホイールを取り扱うアフターマーケット企業の業界団体。日本の自動車業界に健全な「カスタム文化」を根付かせ振興し、車社会の安全と発展に寄与することを活動目的としている。現在、日本国内の主要カスタムパーツ並びにカスタムホイールメーカー163社が加盟（2023年12月1日現在）

以 上